

注3

大学番号：国063

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

島根大学大学院総合理工学研究科
総合理工学専攻（博士前期課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 スタッフ ^{ワタナベ} 渡邊 ^{カオル} 薫

電話番号 0852-32-6604

（夜間） 0852-32-6604

F A X 0852-32-6019

e-mail ski-hyouka@jn.ahimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	18
6	留意事項に対する履行状況等	20
7	その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504
島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 【該当なし】

職名	届出時	変更状況	備考
理事長			
学長			
研究科長			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 総合理工学専攻(博士前期課程) 修士(総合理工学) 修士(理学) 修士(工学)	2年	124人	248人	基礎となる学部等 総合理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	124 () []				0.87倍	
志願者数	154 () []					
受験者数	145 () []					
合格者数	131 () []					
B 入学者数	109 () []					
入学定員超過率 B/A	0.87					

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 109	[-]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計			[3] 109	[]	[]

- (注)
- ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	109 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	109 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 総合理工学研究科 総合理工学専攻（博士前期課程） >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻共通科目	英語教育科目	学術英語演習	1・2前 1→2後	2								教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)		
		現代英語語法文法演習	1・2後 1→2前	2									教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)	
		英語運用演習Ⅰ	1・2前	2										
		英語運用演習Ⅱ	1・2前 1→2後	2									教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)	
		英語運用演習Ⅲ	1・2後	2										
		TOEIC対応英語演習	1・2前	2										
	技術科目	研究開発マネジメント(MOT)基礎概論	1・2後	2			1							
	高度基礎科目	物質科学基礎	1・2前	2			7	6					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
		物質科学ゼミナール	1・2前	2			3	4 3						
		地球資源環境学基礎	1・2前	2			7	7 5		1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		数理科学基礎Ⅰ	未開講 1→2前	2			9	3	4			履修希望者がいなかったため(24)		
		数理科学基礎Ⅱ	1・2後	2			5 9	2 3	1 4			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		情報科学基礎	1・2前	2			7 6	4 2	1 3	2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		機械電気電子システム基礎	1・2前	2			12 11	7 8	2			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		建築・生産設計工学基礎	1・2前	2			5	5 6				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学	1・2前	2			7	8 6		1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学	1・2後	2			7	8 6		1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)		
	必修科目	特別研究Ⅰa	1・2通	10			6						授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
		特別研究Ⅰb	1・2通	10			4 3	0 1						
		特別研究Ⅰc	1・2通	10			1	1						
特別研究Ⅰd		1・2通	10			6	3							
セミナーⅠa		1・2通	4			6			1					
セミナーⅠb		1・2通	4			4 3	0 1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)			
セミナーⅠc		1・2通	4			1	1							
セミナーⅠd		1・2通	4			6	3							
		電子材料学	1・2後	2			1	1						
		結晶材料学	1・2後	2			2							
	機能性高分子特論Ⅰ	1・2後	2			1								
	環境分析化学特論Ⅰ	1・2前	2			1								
	無機化学特論Ⅰ	1・2前	2			1								
	環境分析化学特論Ⅱ	1・2後	2			1								
	地球環境科学	1・2前	2			1								
	エネルギー資源の有機地球化学	1・2前	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理工・医連携コース 高度専門科目	ランダム現象特論	1・2後		2		1	0 +					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	ユーザ中心システム設計学特論	1・2前		2		1						
	福祉情報学特論	1・2後 +2前		2			1					
	半導体フォトニクス工学	1・2後		2		1						
	光応用計測論	1・2後		2			1					
	アメニティ材料学特論	1・2後		2		1						
	表面処理工学	1・2後		2		1						
	精密工学特論	1・2後		2		1						
	木質分子生物学	1・2後		2			1					
	木質科学特論	1・2前		2			1					
	理工医学のための生物材料学の基礎	1・2通		2		3	2					
	機能性物質・食品の応用の基礎	1・2通		2		4						
	医生物学と数学・情報科学の接点	1・2通		2		5 4	0 +					
	臨床・社会・環境医学と高度情報学の接点	1・2通		2		2	1					
	医療のための光工学の基礎	1・2通		2		1	1					
	放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響 I	1・2通		2		3						
	発明の権利化と社会貢献	1・2通		2								
	実践教育プロジェクト	1・2		4		5						
長期インターンシップ	1・2		2									
必修科目	特別研究Ⅲa	1・2通	12			6 7	6 4					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	特別研究Ⅲd	1・2通	12			3	3					
	セミナーⅢa	1・2通	4			6 7	6 4		3 2			
	セミナーⅢd	1・2通	4			3	3					
	金属材料学	1・2前		2		0 +	2 +					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 教員が退職したため(24) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(24)
	電子材料学	1・2後		2		1	1					
	結晶材料学	1・2後		2		2						
	材料評価学	1・2前		2		2						
	金属化合物の磁性	1・2後		2		1	1					
	複合材料学	1・2後		2			1					
	磁性物理学	1・2前		2			2 +					
	低温物理学	未開講 +2前		2		0 +						
	超伝導概論	1・2後		2		1						
	電子材料プロセス概論	1・2前		2		1						
	場の量子論 I	1・2前		2		1						
	場の量子論 II	1・2後		2		1						
	素粒子物理学 I	1・2前		2		1						
	素粒子物理学 II	1・2後		2		1						
	統計場の理論	1・2後		2			1					
	量子統計力学 I	1・2前		2		1						
	量子統計力学 II	1・2後		2		1						
	固体電子論	1・2前		2		1						
	電子物性特論	1・2前		2			1					
	特別実習	1・2通		1								
物質構造特別講義 1 a	未開講 +2		2									
物質構造特別講義 1 b	未開講 +2		1									
物質構造特別講義 2 a	未開講 +2		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
物理・材料科学コース	高度専門科目	物質構造特別講義 2b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 3a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 3b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 4a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 4b	1・2	1								
		物質構造特別講義 5b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 6b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質構造特別講義 7b	1・2	1								
		物質機能特別講義 1a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質機能特別講義 1b	1・2	1								
		物質機能特別講義 2b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質機能特別講義 3a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質機能特別講義 3b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		物質機能特別講義 4b	1・2	1								
		量子物理特別講義 1a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 1b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 2a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 2b	1・2	1								
		量子物理特別講義 3a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 3b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 4a	未開講 1→2	2							履修希望者がいなかったため(24)	
		量子物理特別講義 4b	未開講 1→2	1							履修希望者がいなかったため(24)	
		☆物質構造概論 I	1・2	2			1	1				
		☆物質構造概論 II	1・2	2			2	1				
		☆物質機能概論 I	未開講 1→2併	2			0 1					教員が退職したため(24)
		☆量子物理学概論 I	1・2	2			2					
		☆量子物理学概論 II	1・2	2			1					
		実践教育プロジェクト	1・2	4			5					
		長期インターンシップ	1・2	2								
		必修科目	特別研究IVa	1・2通	10			5	2			
特別研究IVd	1・2通		10			4	5					
セミナーIVa	1・2通		4			5	2		2			
セミナーIVd	1・2通		4			4	5					
無機化学特論 I	1・2前			2		1						
無機化学特論 II	1・2前			2			1					
有機化学特論 I	1・2前			2		1						
有機化学特論 II	1・2後			2			1					
機能性有機物質化学特論 I	1・2前			2		1						
機能性有機物質化学特論 II	1・2後			2			1					
高機能触媒特論 I	1・2後 1→2併		2		1					教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
物質化学コース	高度専門科目	高機能触媒特論Ⅱ	1・2前 1・2後	2			1					教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
		機能性高分子特論Ⅰ	1・2後	2		1						
		機能性高分子特論Ⅱ	1・2後	2			1					
		機能性セラミックス特論Ⅰ	1・2前	2		1						
		機能性セラミックス特論Ⅱ	1・2後	2			1					
		物質化学特論Ⅰ	1・2前	2		1						
		環境分析化学特論Ⅰ	1・2前	2		1						
		環境分析化学特論Ⅱ	1・2後	2		1						
		物質工学特論	1・2前	2			1					
		特別実習	1・2通	1								
		物質化学実習	1・2通	1								
		物質化学特別講義Ⅰ	1・2	1								
		物質化学特別講義Ⅱ	1・2	1								
		Environmental Analytical Chemistry 環境分析化学	1・2後	2		1						
		Environmental Geochemistry 環境地球化学	1・2前	2		1						
		Material Science Seminar 物質科学セミナー	1・2通	4		2						
		Special PracticeⅠ 特別実習Ⅰ	1・2通	1								
		Special PracticeⅡ 特別実習Ⅱ	1・2通	2								
		☆物質化学概論Ⅰ	1・2	2		1						
		☆物質化学概論Ⅱ	1・2	2		1	0 +				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
☆物質化学概論Ⅲ	1・2	2		1								
実践教育プロジェクト	1・2	4		5								
長期インターンシップ	1・2	2										
必修科目	特別研究Ⅴa	1・2通	12			7	7 6				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	セミナーⅤa	1・2通	4			7	7 6	1 2			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	Thesis Research 特別研究	1・2通	12			13	8					
		変成岩と変成作用	1・2前	2		1						教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
		鉱物学特論	1・2後	2		1						
		岩石化学特論	1・2前	2			1					
		堆積岩地球化学	1・2前 1・2後	2			1					
		資源地質学特論	1・2後	2			1		0 +		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
		エネルギー資源の有機地球化学	1・2前	2		1						
		地質構造の解析	1・2後	2		1						
		生層序学	1・2前	2		1						
		環境古生物学	1・2前	2		1						
		堆積地質学	1・2前	2		1						
		地球環境科学	1・2前	2		1						
		地球環境変動論	1・2前	2		1						
		汽水域生態学	1・2前	2		1						
		防災工学特論	1・2前	2		1						
		応用地質学特論	1・2前	2		1						
		地殻流体工学	1・2後	2		1						
		地盤解析学	1・2前	2					1			
地球資源環境学特別講義Ⅰ	1・2通	2										
地球資源環境学特別講義Ⅱ	1・2通	4										
ジオサイエンス特別実習Ⅰ	1・2通	2										

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
地球資源 環境学 コース 高度 専門 科目	ジオサイエンス特別実習Ⅱ	1・2通		1								
	ジオサイエンス特別実習Ⅲ	1・2通		2								
	Metamorphic Petrology 岩石学特論	1・2前		2		1						
	Mineral Science of Transition Elements-bearing Minerals 鉱物学特論	1・2後		2		1						
	Structural Geology 構造地質学特論	1・2後		2		1						
	Advanced Petrochemistry 岩石化学特論	1・2前		2			1					
	Geochemistry of Clastic Sediments 堆積岩地球化学	1・2後		2			1					
	Seminar 地球物質システム学セミナー	1・2通		4		4	3 2		0 1			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	Evolutionary Paleontology 進化生物学特論	1・2前		2		1						
	Stratigraphy and Sedimentology 層序学・堆積学	1・2後		2			1					
	Biostratigraphy 生層序学	1・2前		2			1					
	Metallic Mineral Resources 鉱物資源地質学	1・2前		2		1						
	Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論	1・2前		2		1						
	Resource Geology 資源地質学特論	1・2後		2			1		0 1			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	Earth Environmental Science 地球環境科学	1・2前		2		1						
	Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論	1・2前		2			1					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	Applied Ecology and Engineering 環境工学	1・2前		2								
	Seminar 環境地質学セミナー	1・2通		4		2	3 2					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	Engineering Geology 応用地質学特論	1・2前		2		1						
	Disaster Prevention Engineering 防災工学特論	1・2前		2			1					
	Groundwater Hydraulics 地殻流体工学	1・2後		2			1					
	Geotechnical Analysis 地盤解析学	1・2前		2					1			
	Seminar 自然災害工学セミナー	1・2通		4		1	2		1			
	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特別講義Ⅰ	1・2		2								
Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特別講義Ⅱ	1・2		4									
Excursions in Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境学エクスカーション	1・2		2									
Seminars on Current Topics and Method 地球科学の話題と発表方法	1・2通		4			1						
Special Practice I 特別実習Ⅰ	1・2通		1									
Special Practice II 特別実習Ⅱ	1・2通		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	☆地球資源環境学 I	1・2通		4		7	7 6			1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	☆地球資源環境学 II	1・2通		4		7	7 6			1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	☆ジオサイエンス原理	1・2通		4		7	7 6			1 2		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
数理科学コース 高度専門科目	特別研究VIb	1・2通	8			8	5 3	2 4				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	セミナーVIb	1・2通	6			8	5 3	2 4				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	代数学特論 I	1・2前		2			1					
	代数学特論 II	1・2後		2			1					
	代数学特論 III	1・2前		2		1						
	代数学特論 IV	1・2前		2								
	幾何学特論 I	未開講 1・2前		2					1			履修希望者がいなかったため(24)
	幾何学特論 II	1・2後		2		1						
	幾何学特論 III	1・2前		2								
	位相数学特論 I	1・2後 1・2前		2		1						教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
	位相数学特論 II	1・2前		2					1			
	位相数学特論 III	1・2前 1・2後		2					1			教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
	位相数学特論 IV	未開講 1・2前		2								履修希望者がいなかったため(24)
	解析学特論 I	1・2前		2		1						
	解析学特論 II	1・2後		2				1	0 1			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	解析学特論 III	1・2後		2		1						
	解析学特論 IV	1・2前		2								
	解析学特論 V	1・2前 1・2後		2								教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
	応用解析特論 I	1・2前		2		1						
	応用解析特論 II	1・2前		2		1						
	応用解析特論 III	1・2後		2		1						
	応用解析特論 IV	1・2前 1・2後		2								教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
	ランダム現象特論	1・2後		2		1		0 1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	☆数理構造学概論 I	1・2前		2				1				
	☆数理構造学概論 II	1・2前		2				1				
	☆数理構造学概論 III	1・2前		2		1						
	☆数理構造学概論 IV	1・2前		2				1	0 1			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
☆数理構造学概論 V	未開講 1・2前		2		1						履修希望者がいなかったため(24)	
☆数理構造学概論 VI	1・2前		2						1			
☆数理構造学概論 VII	1・2前		2		1							
☆数理構造学概論 VIII	1・2前		2						1			
☆数理解析学概論 I	1・2前		2		1							
☆数理解析学概論 II	1・2前		2				1	0 1			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
☆数理解析学概論 III	1・2後		2		1							
☆数理解析学概論 IV	1・2前		2				1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
☆数理解析学概論 V	1・2前		2		1							
☆数理解析学概論 VI	1・2前		2		1							
☆数理解析学概論 VII	1・2前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	☆数理解析学概論Ⅷ	1・2前		2		1	0 1					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
情報システム学コース 高度専門科目	必修科目 特別研究Ⅶc	1・2通	10			7 6	4 2	1 3				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	必修科目 セミナーⅦc	1・2通	4			7 6	4 2	1 3				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
		ファジィ情報学特論	未開講 1・2前		2		1						履修希望者がいなかったため(24)
		可視化情報学特論	1・2前		2		1						
		データベース学特論	未開講 1・2前		2		1						履修希望者がいなかったため(24)
		計算モデル学特論	1・2前		2		1						
		プログラミング言語処理学特論	未開講 1・2前		2			1					履修希望者がいなかったため(24)
		福祉情報学特論	1・2後 1・2前		2			1					教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)
		音声言語情報処理学特論	未開講 1・2前		2								履修希望者がいなかったため(24)
		知識発見学特論	1・2前		2					1			
		計算機構成学特論	1・2前		2		1		0 1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
		ユーザ中心システム設計学特論	1・2前		2		1						
		マルチメディア学特論	未開講 1・2前		2		1						履修希望者がいなかったため(24)
		理論計算学特論	1・2前		2			1	0 1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
		知能情報処理学特論	1・2前		2				1				
		アルゴリズム学特論	未開講 1・2前		2						1		履修希望者がいなかったため(24)
		特別実習	1・2通		1								
		☆応用情報学概論Ⅰ	1・2前		2		1						
		☆応用情報学概論Ⅱ	1・2前		2		1						
		☆応用情報学概論Ⅲ	1・2前		2		1						
		☆応用情報学概論Ⅳ	1・2前		2		1						
		☆応用情報学概論Ⅴ	1・2前		2			1					
		☆応用情報学概論Ⅵ	1・2前		2			1					
		☆応用情報学概論Ⅶ	1・2前		2			1					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
		☆計算機科学概論Ⅰ	未開講 1・2前		2					1			履修希望者がいなかったため(24)
		☆計算機科学概論Ⅱ	1・2前		2		1						
		☆計算機科学概論Ⅲ	1・2前		2		1						
	☆計算機科学概論Ⅳ	1・2前		2				1					
	☆計算機科学概論Ⅴ	1・2前		2			1	0 1				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	実践教育プロジェクト	1・2		4		5							
	長期インターンシップ	1・2		2									
必修科目	特別研究Ⅷd	1・2通	12			12 11	7 8	2				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	セミナーⅠ	1・2通	2			12 11	7 8	2				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	セミナーⅡ	2通	2			12 11	7 8	2				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	特別計画研究	1・2通		2		12 11	7 8	2				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	ロボット工学	1・2前		2		1							
	基礎応力解析	1・2前		2		1							
	制御工学特論	1・2後		2		1							
機械設計工学	1・2前		2			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
機械・電気電子工学コース 高度専門科目	デジタル制御理論	1・2前		2			1					
	応用応力解析	未開講 1・2後		2			0 1					教員が退職したため(24)
	機械力学特論	1・2後		2				1				
	リモートセンシング論	1・2前		2		1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2前		2		1						
	音響工学	1・2後		2			1					
	電磁波大気計測論	1・2後		2			1					
	光応用計測論	1・2後		2			1					
	光波工学	1・2後		2		1						
	放送工学	1・2前		2		1						教育課程編成充実の理由により、科目を追加(24)
	光エレクトロニクス通信工学	1・2前		2		1						
	エネルギー工学基礎論	1・2前		2			1					
	統計的信号処理	1・2後		2				1				
	電子材料評価特論	1・2前		2		1						
	先端集積化デバイス工学	1・2後		2		1						
	固体量子物性工学	1・2前		2		1						
	半導体フォトリソ工学	1・2後		2		1						
	薄膜材料デバイス工学	1・2後		2			1					
	技術英語演習	1・2通		2			12 11	7 8	2			授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	Environmental Remote Sensing 地球環境リモートセンシング	1・2後		2		1						
	Atmospheric Remote Sensing 大気リモートセンシング	1・2前		2				1				教育課程編成充実の理由により、科目を追加(24)
	Environmental Remote Sensing Seminar I 環境リモートセンシングセミナー I	1・2通		2		1						
	Environmental Remote Sensing Seminar II 環境リモートセンシングセミナー II	2通		2		1						
	Atmospheric Remote Sensing Seminar 大気リモートセンシングセミナー	1・2通		4				1				教育課程編成充実の理由により、科目を追加(24)
Special Practice I 特別実習 I	1・2通		1									
Special Practice II 特別実習 II	1・2通		2									
☆システム工学概論	1・2前		2			5						
☆エレクトロニクス概論	1・2後		2			5 6					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
特別実習	1・2		1									
実践教育プロジェクト	1・2		4		5							
長期インターンシップ	1・2		2									
必修科目	特別研究IXd	1・2通	16			5	5 6				授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)	
	特別研究IXe セミナーIXd	1・2通 1・2通	16 4			5	1 5					
	木質科学特論	1・2前		2			1					
	木材基礎工学特論	1・2前		2			1					
	木質分子生物学	1・2後		2			1					
	アメニティ材料学特論	1・2後		2		1						
	建築構造設計特論	1・2前		2			1 2					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	建築材料設計特論	1・2後		2		1						
	建築環境設計特論	1・2後		2			1					
	建築設計特別演習 I	1・2前		2		1	1		1			
	建築設計特別演習 II	1・2後		2		1	1			1		
	建築設計特別演習 III	1・2通 1・2前		2		1	1			1		教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
建築・生産設計工学コース 高度専門科目	建築設計・工事監理(インターンシップ)Ⅰ	1・2通		4		2	2			1		授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 教育課程編成見直しの理由により、開講期別を変更及び授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24) 授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(24)
	建築設計・工事監理(インターンシップ)Ⅱ	1・2通		6		2	2			1		
	建築設計・工事監理(インターンシップ)Ⅲ	1・2通		4		2	2			1		
	表面処理工学	1・2後		2		1						
	機械加工工学特論	1・2前		2		1	0			1		
	資源再生工学特論	1・2後		2			1					
	精密工学特論	1・2後		2		1						
	機能材料特論	1・2後		2		1						
	建築・生産設計特別実習	1・2前 1・2後		1		5	5	6				
	Utilization and Estimation of Resources 森林利用評価学	1・2後		2		1						
	Formation of Forest Resources 森林資源形成学	1・2前		2			1					
	Chemical Processing of Forest Resources 森林資源化学加工学	1・2前		2		1						
	Advanced Recycling Technology of Natural and Synthetic Polymers 資源再生工学特論	1・2後		2			1					
	Wood Science and Building Materials Engineering Seminar 材料工学セミナー	1・2通		4		1						
	Seminar in Machinery System 機械加工工学システムセミナー	1・2通		4		2	2					
	Special Practice I 特別実習Ⅰ	1・2通		1								
	Special Practice II 特別実習Ⅱ	1・2通		2								
	☆機械加工システム学概論	1・2前		2		2	2					
	☆材料工学概論	1・2前		2		2	3					
実践教育プロジェクト	1・2		4		5							
長期インターンシップ	1・2		2									

- (注)・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	308	0	337	29	311	0	340	
				[0]	[3]	[0]	[3]	

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	低温物理学	2	1・2前	専門	選択	教員が退職したため。代替措置無
2	☆物質機能概論 I	2	1・2前	専門	選択	教員が退職したため。代替措置無
3	応用応力解析	2	1・2後	専門	選択	教員が退職したため。代替措置無

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、教員の退職によるものであり、速やかに教員を採用し開講することとする。
 また、学生に対しては、入学時に配付する資料（授業科目一覧）又は掲示により、周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 (3)}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計 (337)}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 【該当なし】

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成24年4月 専任教員1名を新規採用のため(24)		
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 室 15					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		〇〇学部	([])	([])	([])	()	()	()
	計	([])	([])	([])	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	島根大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	3年次 人	人		倍			
法学部			10	20				島根県松江市西川津町1060	
法経学科	4	90		360	学士（法経）	1.03	平成16年度		
社会文化学科	4	70		280	学士（社会科学）	1.05	平成16年度		
言語文化学科	4	65		260	学士（文学）	1.03	平成16年度		
教育学部 学校教育課程	4	170		680	学士（教育学）	1.02	平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
医学部 医学科	6	102	10	569	学士（医学）	1.00	平成15年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
看護学科	4	60	10	240	学士（看護学）	1.02	平成15年度		
総合理工学部 物質科学科	4	130	12	520	学士（総合理工学）	1.05	平成15年度	島根県松江市西川津町1060	
地球資源環境学科	4	50		200	学士（総合理工学）	1.01	平成15年度		
数理・情報システム学科	4	10		400	学士（総合理工学）	1.00	平成15年度		
機械・電気電子工学科	4	80		80	学士（総合理工学）	1.11	平成24年度		
建築・生産設計工学科	4	40		40	学士（総合理工学）	1.00	平成24年度		
生物資源科学部 生物科学科	4	30	20	120	学士（生物資源科学）	0.99	平成15年度	島根県松江市西川津町1060	
生命工学科	4	40		160	学士（生物資源科学）	1.07	平成15年度		
農林生産学科	4	85		85	学士（生物資源科学）	1.07	平成24年度		
地域環境科学科	4	45		45	学士（生物資源科学）	1.24	平成24年度		
人文社会科学部 法経専攻	2	6		12	修士（法学） 修士（経済学） 修士（社会科学） 修士（言語文化）	0.83	平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
言語・社会文化専攻	2	6		12		1.41	平成16年度		
教育学部 教育実践開発専攻	2	20		40	修士（教育学）	0.72	平成20年度	島根県松江市西川津町1060	
教育内容開発専攻	2	20		40		0.75	平成20年度		
医学系研究科 医科学専攻	4	30		120	博士（医学）	1.05	平成20年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
医科学専攻	2	15		30	修士（医科学）	1.03	平成16年度		
看護学専攻	2	12		24	修士（看護学）	1.08	平成15年度		

総合理工学研究科 マテリアル創成工学専攻	3	6		18	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	0.77	平成15 年度	島根県松江市西川津 町1060
電子機能システム工学専攻	3	6		18		0.50	平成15 年度	
総合理工学専攻	2	124		124	修士（総合理 工学） 修士（理学） 修士（工学）	0.87	平成24 年度	
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻	2	20		40		1.02	平成20 年度	島根県松江市西川津 町1060
農林生産科学専攻	2	22		44	修士（生物資 源科学）	0.61	平成20 年度	
環境資源科学専攻	2	18		36		0.94	平成20 年度	
法務研究科 法曹養成専攻	3	20		60	法務博士（専 門職）	0.40	平成16 年度	島根県松江市西川津 町1060
〇 〇 短 期 大 学								
備 考								
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 総合理工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表 【該当なし】

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
109	12	121	0	109	12	121	0	
(104)	(12)	(116)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(3) 専任教員辞任等の理由 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等 【該当なし】

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) 【該当なし】

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注)・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 【該当なし】

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）
・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 5月18日)